

Snipping Tool を便利に使いこなそう

インターネット上でいろんな情報を調べる場合そのまま印刷でもいいのですが、データとしてパソコン内に残したいとか自分流に編集したいと思うことはありませんか。

それを簡単に実施する便利なソフトができました。Snipping Tool という名前で Vista (vista home basic は除く) 以降の機種 Windows7 では Home Premium、professional、Ultimate に標準装備されています。

今回はそのソフトを使って画像のキャプチャを実施します。

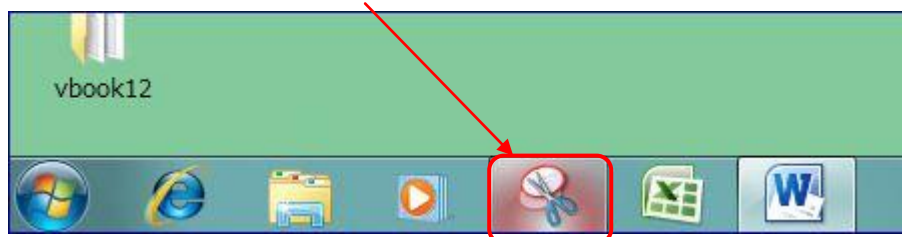
Snipping Tool の特徴

- 画面の一部分だけを確認しつつ簡単に切り取ることができます。
- 手書きの書き込みができて画像として保存できます。
- 作成した画像を直接メールで送信できます。

Snipping Tool を開く

1. 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」と進みます。
「Snipping Tool」(以下ソフトと表記) をクリックして開きます。

※ ソフトをよく使用する場合はタスクバー左の「クイック起動ツールバー領域」にソフトのアイコンを登録すると便利です。
このように常駐させます



2. ツールバーにアイコンを登録する方法

オプションをクリック→オプションを開き「クイック起動ツールバーにアイコンを表示する」にチェックを入れる→「OK」をクリックします。

※ 登録しない場合はソフトを起動→「Esc」キーを押して選択を解除しタスクバー上で待機状態にします。

Snipping Tool を使ってみよう

① ソフトを起動する

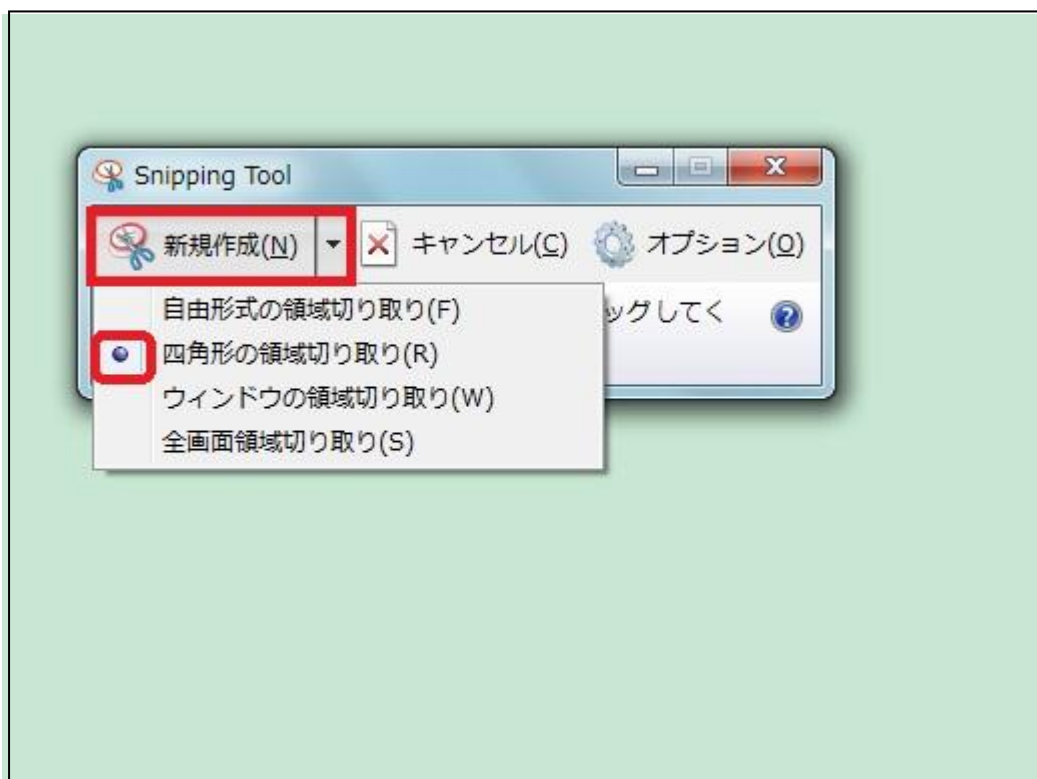
ソフトが起動すると画面全体が白っぽくなります。
それを見て起動中かどうかを確認します。

起動中の画面



② デスクトップ画面を切り取る

新規作成の横▼をクリックして「四角形の領域切り取り」をクリックします。



- ③ 十の印で選択領域を選ぶと自動的に切り取れます。
ここではわかりやすく Yahoo の画面を使い切り取りました。

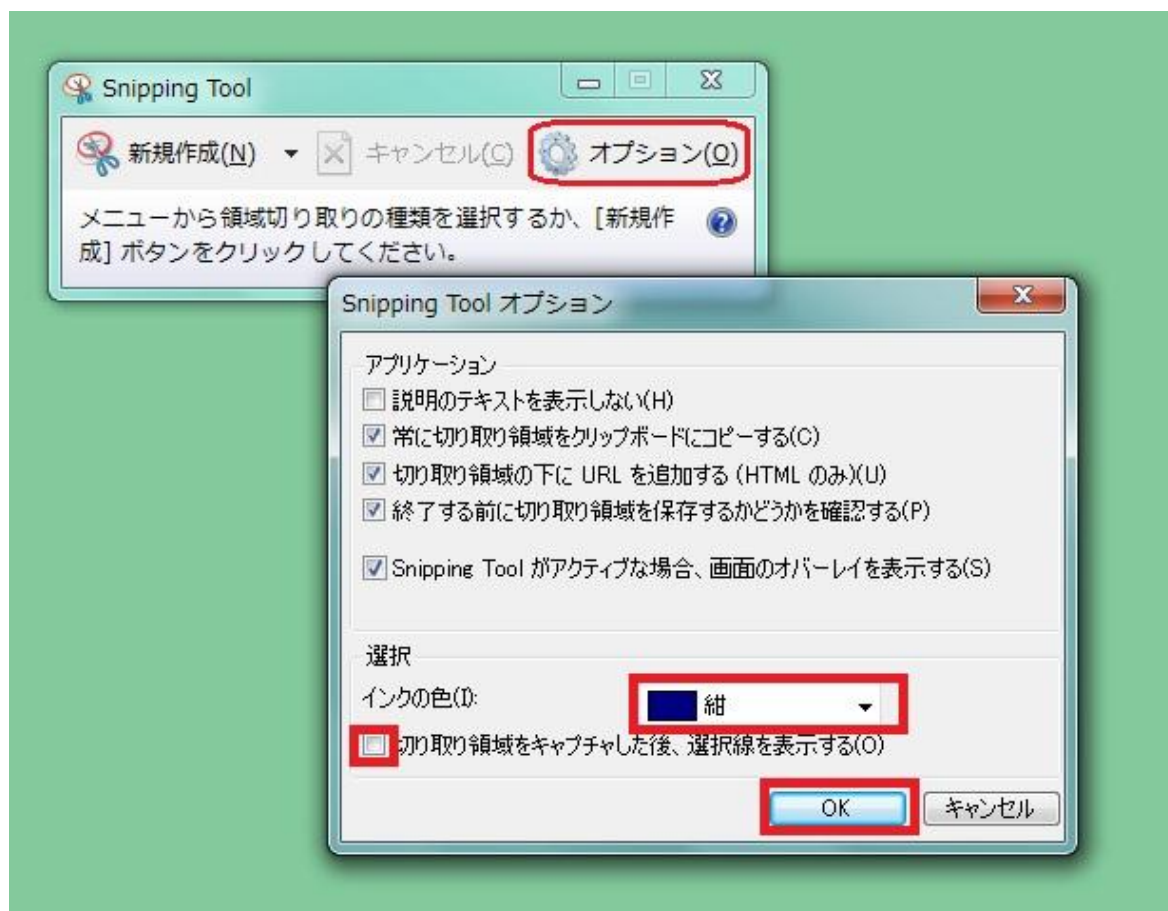


上図と下図の違いを見比べると上は青色の枠で囲まれ下は枠が無いことがわかります。



④ 切り取った画像枠の有無と色の設定をします。

「切り取り領域をキャプチャした後、選択線を表示する」のチェックを入れると枠が表示され、インクの色も同じところで設定できます。
チェックを外すと枠は表示されません。



⑤ 切り取った画像に書き込みをしましょう。

ソフトで切り取った画像に好きな書き込みができます。
ペン先の形、太さ、ペンの種類、インクの色等いろんな設定ができます。
消しゴムもありますので書いたものを消すこともできます。
次ページの図を参考にいろいろな試してみてください。
次ページ図では全て開いて表示はしていませんが、横の▼も押して開いてみましょう。

もしペンの印が出ない場合は「ツール」をクリックして開くと出てきます。

※ ここまで理解できたらソフトを使って簡単レシピの取り込み実習をいたします。

